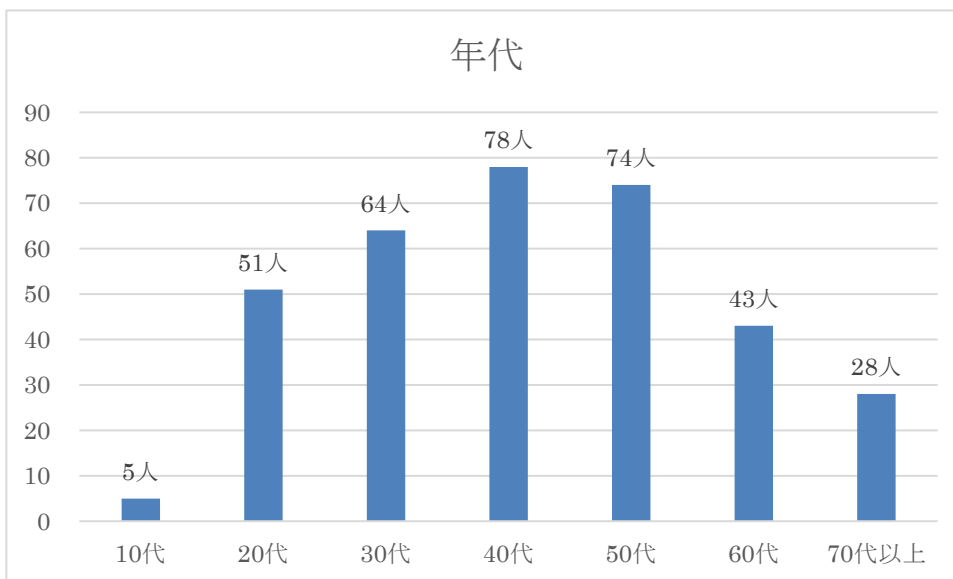
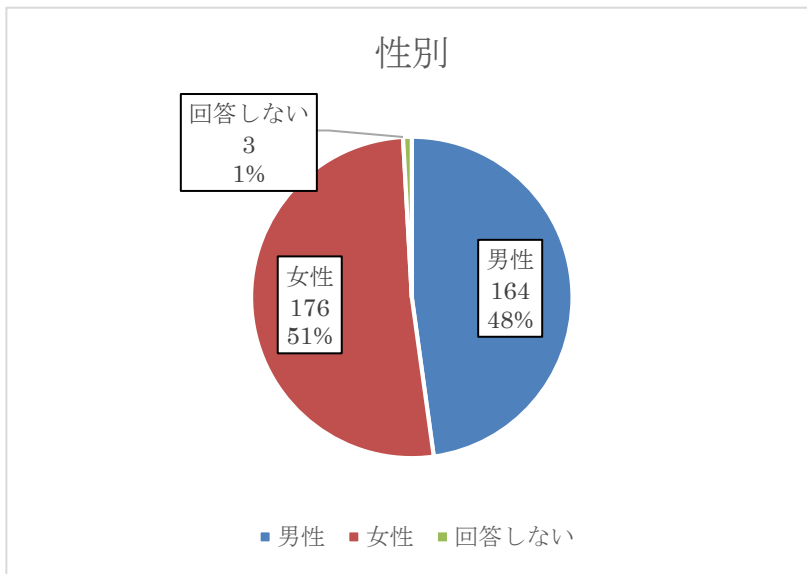


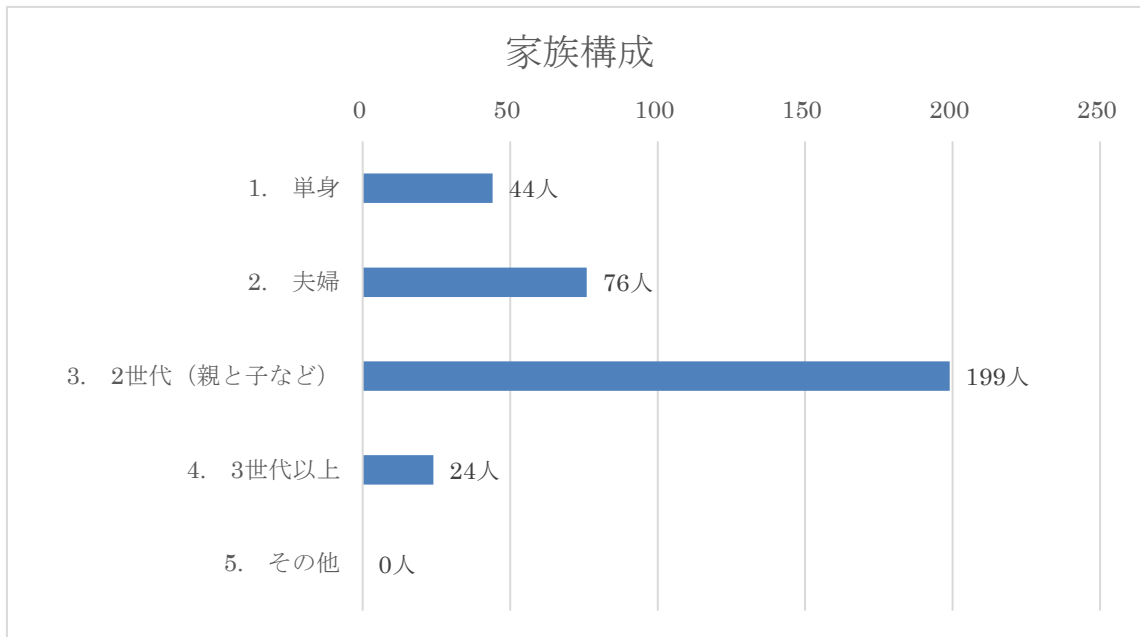
令和4年度 第9回 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

テーマ 「動物愛護に関するアンケート調査」
調査期間 令和5年2月1日（水）～令和5年2月15日（水）
回答者数 343人
対象モニター数 400人
回答率 85.8%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【属性】





概要

1. 犬や猫への飼い主の明示のためのマイクロチップについて

マイクロチップについては、「外れることがないので良い」との回答が最も多く、次いで「生体にとって異物であるため、抵抗がある」との回答が続きました。

2. ペット防災について

災害に対する動物のための対策については、「何もしていない」との回答最も多く、災害時に避難所へ動物を連れて一緒に避難（同行避難）することができることを約 60%の方が知らなかったことが分かりました。

3. 飼い主のいない猫について

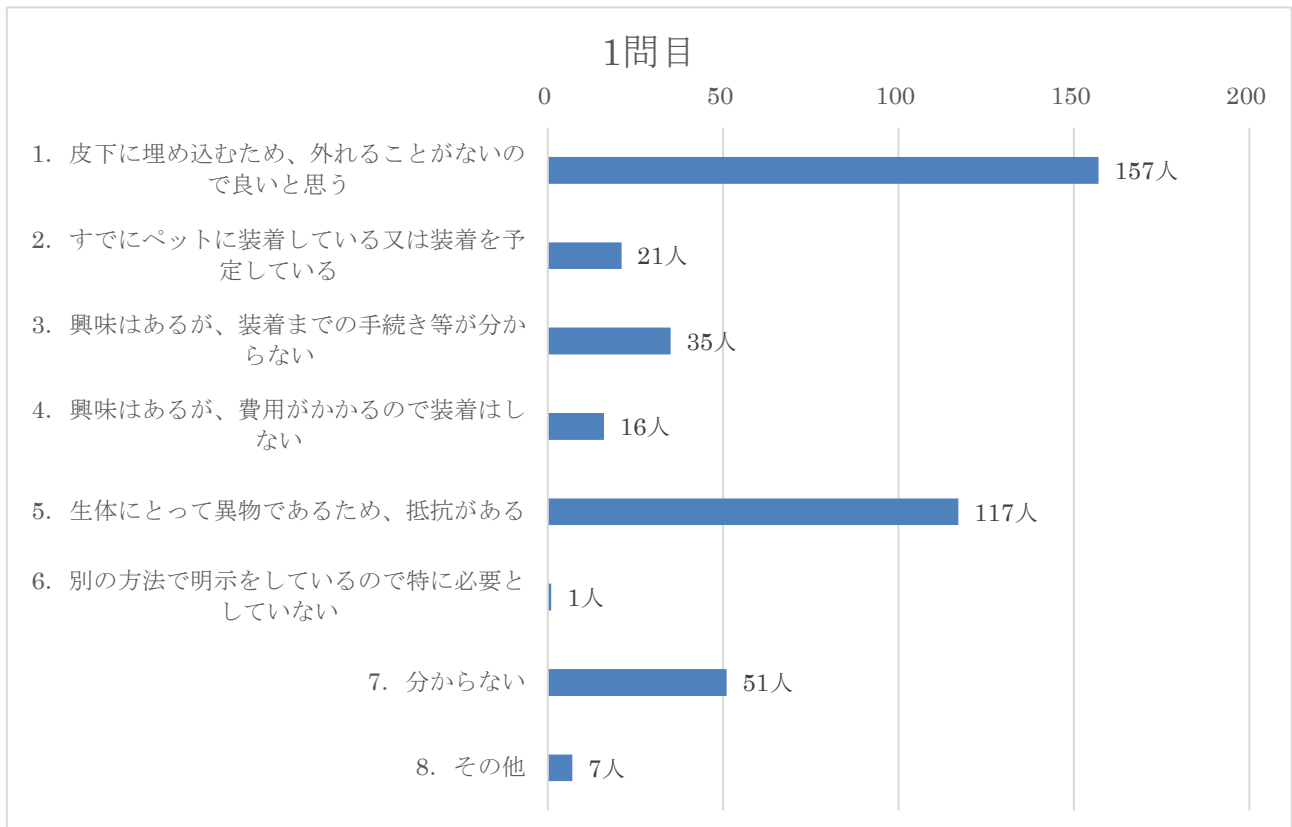
飼い主のいない猫については、約半数の方が「困ったことがある」と回答し、その対応について「増えすぎると問題になるため、数を管理するべき」と回答した方が最も多い一方、その方法として「保健所が捕獲する」ことができないことを、86%の方が知らなかったことが分かりました。

地域猫活動については、「良い方法だが、住民の負担が大きい」との回答が最も多く、次いで「良い方法であると思う」との回答が続きました。解決方法として有効だという認知されているものの、依然、管理や手術費の負担が大きいことが分かりました。

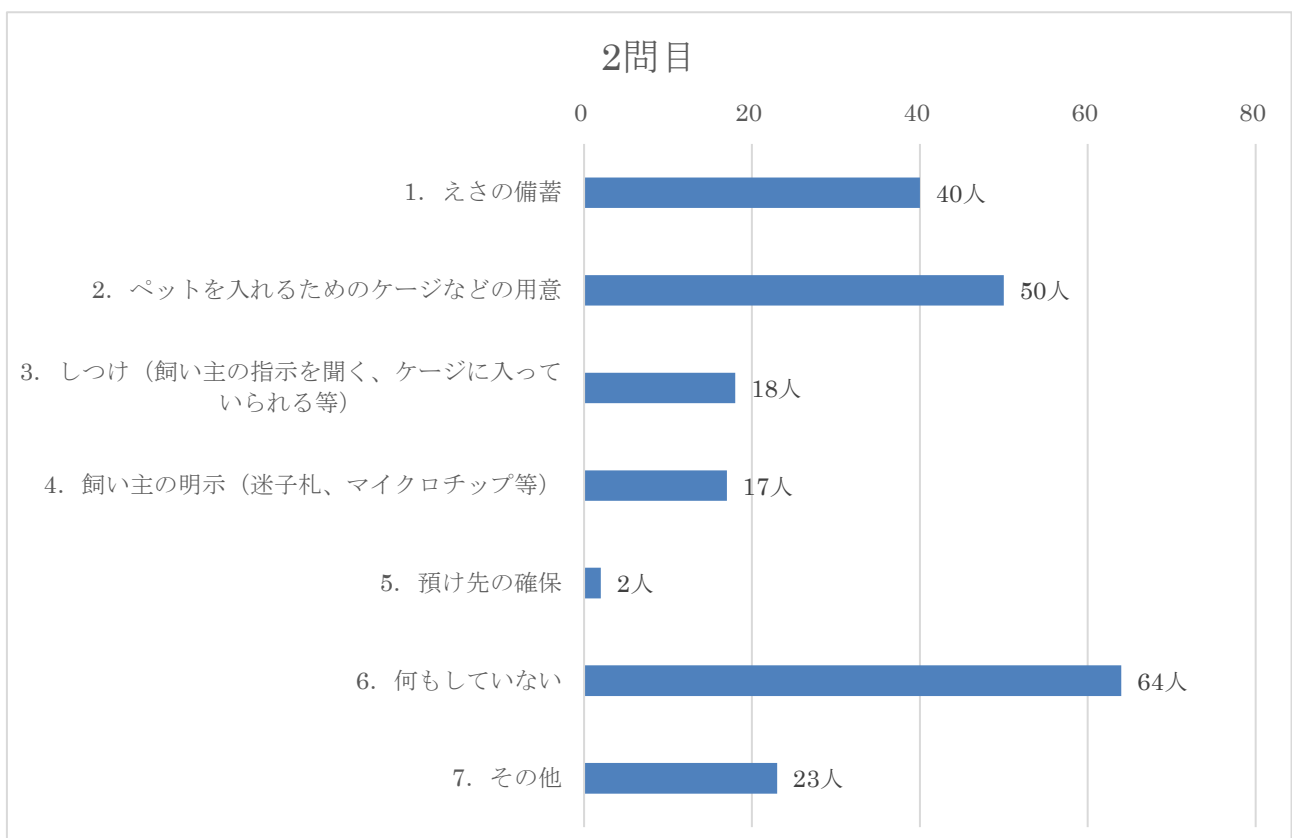
4. 今後の動物愛護に関する取組みについて

問 10「豊橋市が行う取り組みについて」は、問 9「ボランティアに協力してもらいたい活動」と同じ傾向がみられ、「犬・猫の譲渡」、「適正な飼育に関する啓発」、「飼い主のいない猫対策」の順で回答された方が多かったです。

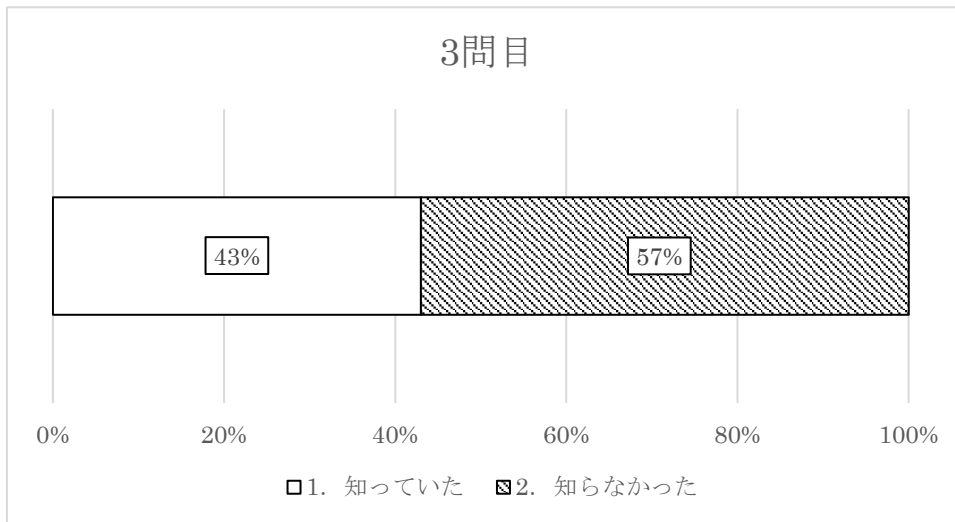
設問 1. ペットショップ等で販売される犬や猫へのマイクロチップの装着が、一部義務化になりました。飼い主の明示のため、ペットにマイクロチップを装着することについてどう思いますか。(複数選択可)



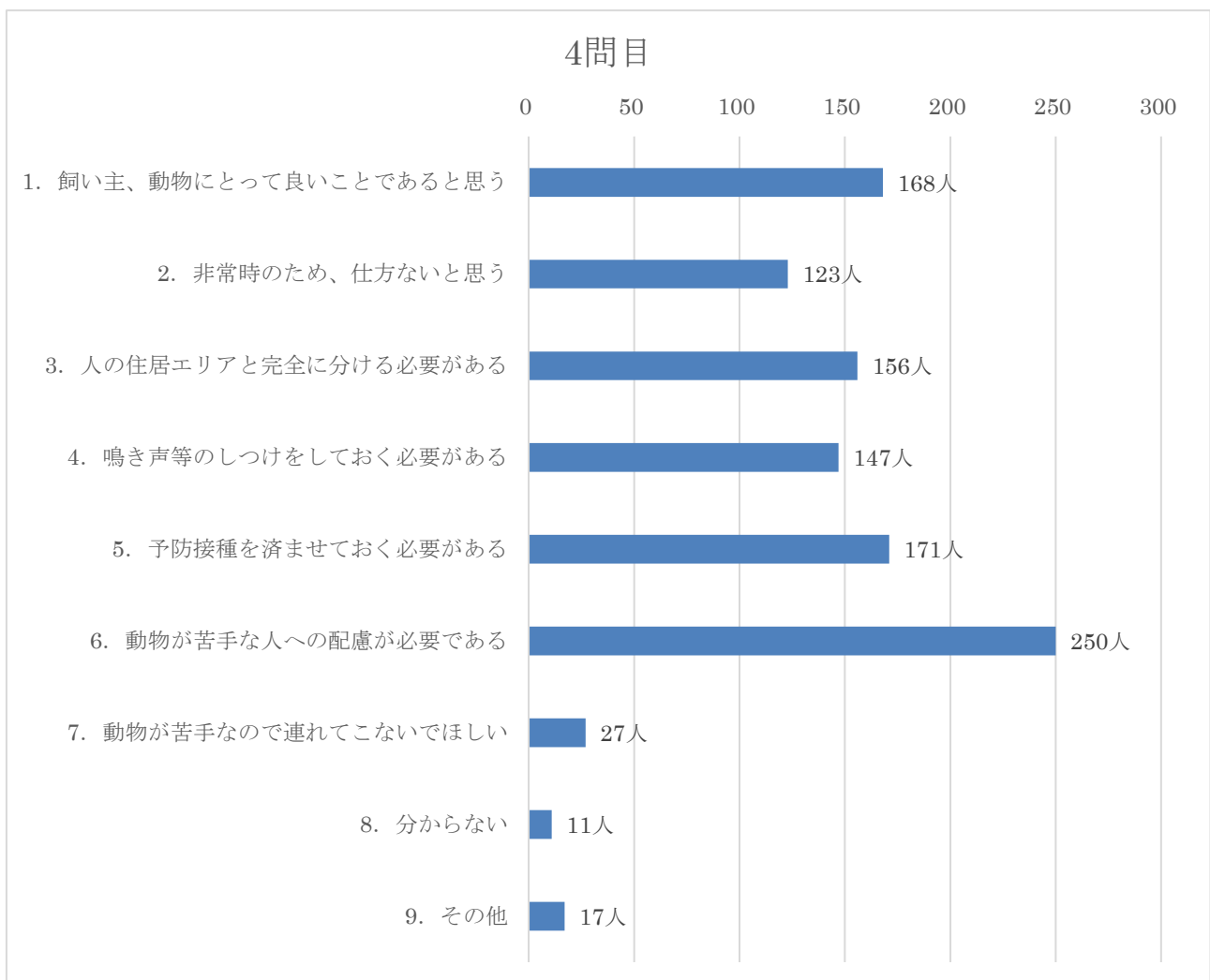
設問 2. 動物を飼っている方にお聞きします。地震などの災害に備えて、動物のための対策を行っていますか。また、行っている場合はどのような対策をしていますか。(複数選択可)



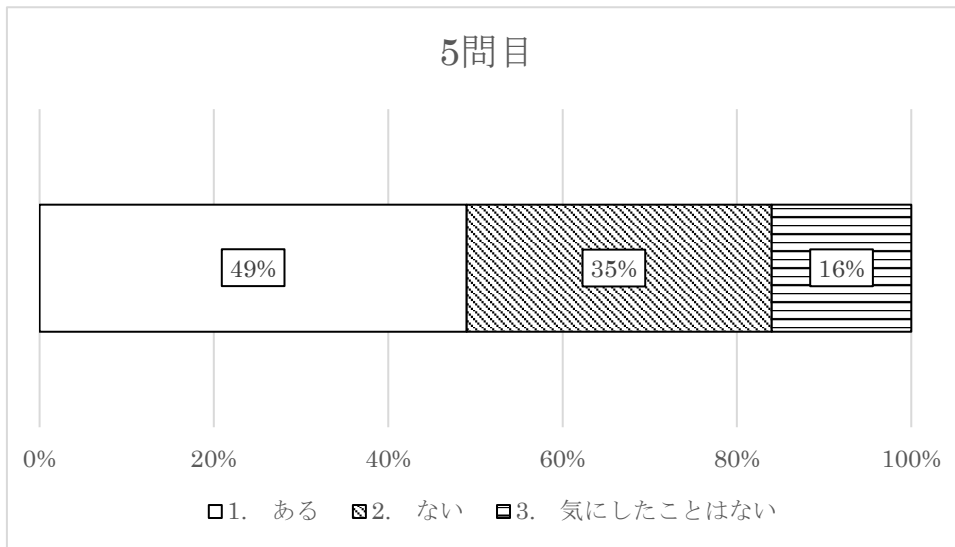
設問 3. 災害時には、避難所へ犬や猫などを連れて一緒に避難（同行避難）することができることを知っていましたか。（n = 343）



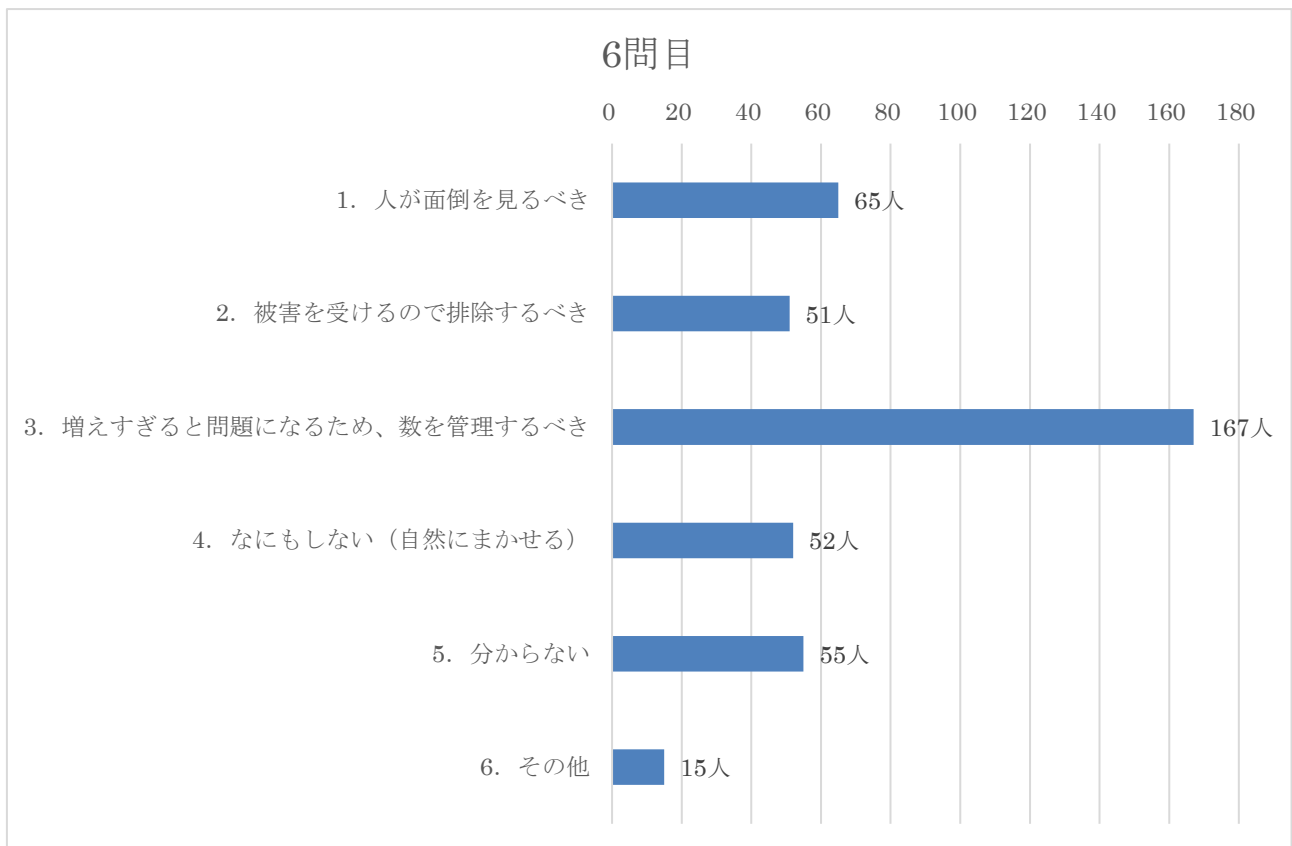
設問 4. 災害時における犬や猫などの同行避難について、どう思いますか。（複数選択可）



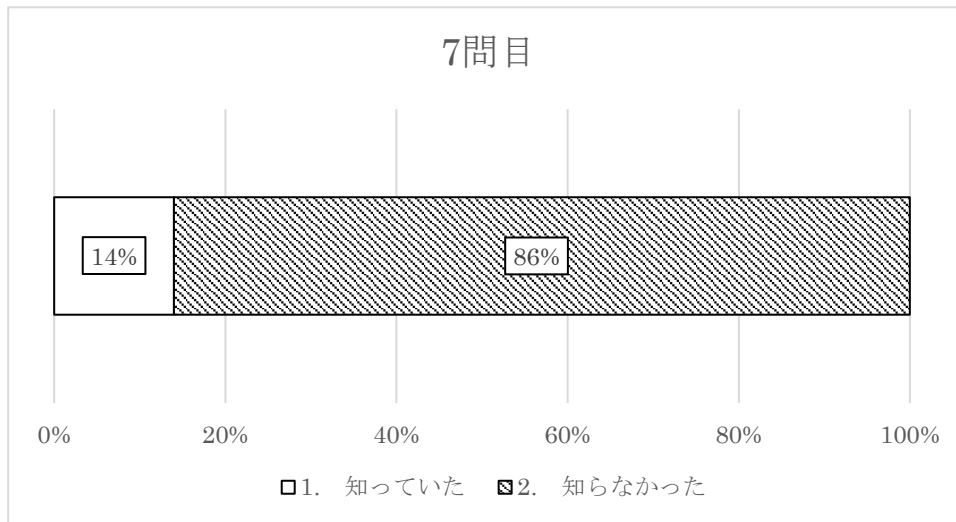
設問 5. 飼い主のいない猫（のら猫）で困ったことはありますか。（n = 343）



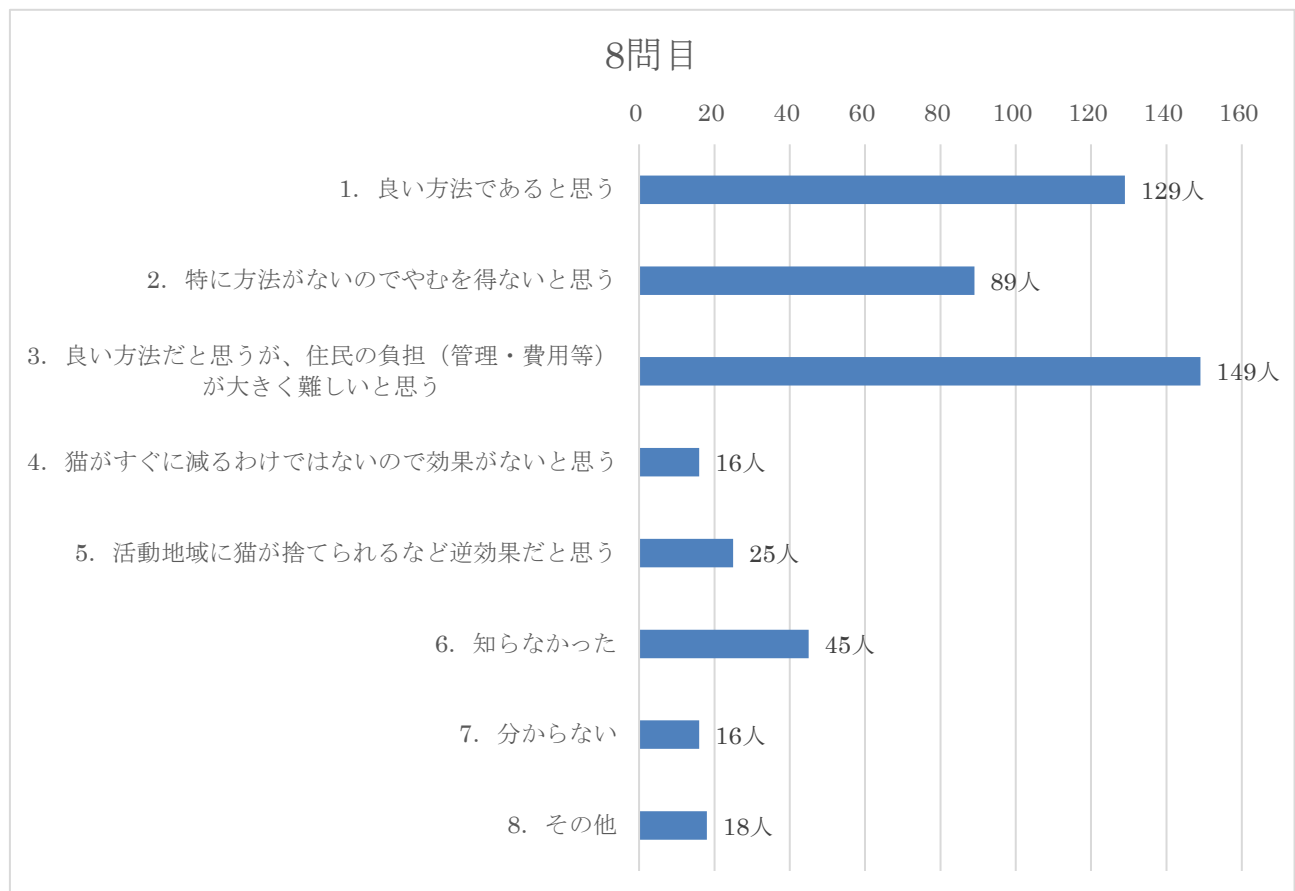
設問 6. 飼い主のいない猫（のら猫）と、どのように付き合うべきだと思いますか。（複数選択可）



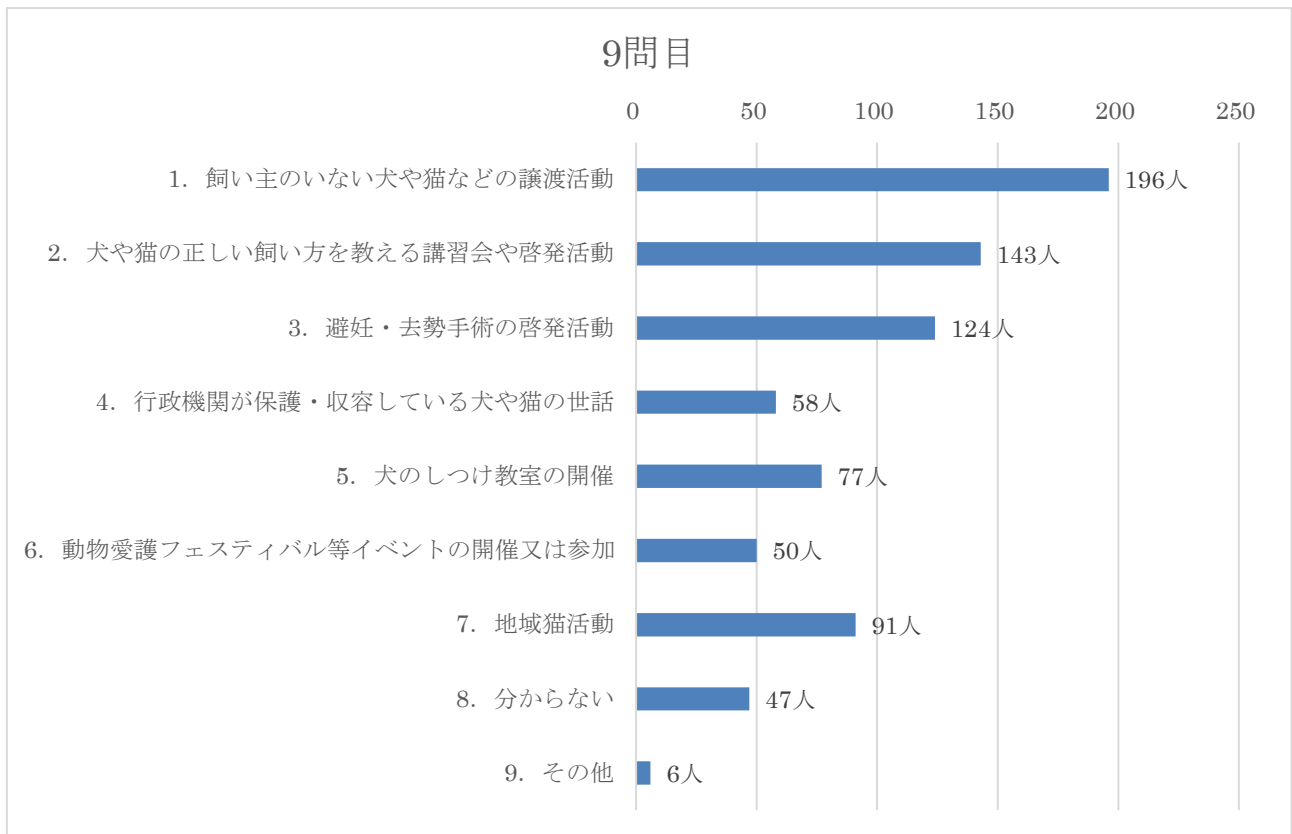
設問 7. 保健所では、飼い主のいない猫（のら猫）について捕獲することができないことを知っていますか。（n = 343）



設問 8. 地域住民が飼い主のいない猫（のら猫）を不妊去勢し、適切な管理（餌やり、糞の始末等）をすることにより、地域の環境改善と飼い主のいない猫が増えないようにする活動を「地域猫活動」といいますが、この活動をどう思われますか。（複数選択可）



設問 9. 動物愛護に携わるボランティアに協力してもらいたい活動はどれですか。
(複数選択可)



設問 10. 豊橋市で行う動物愛護に関する取組みの中で、今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(複数選択可)

